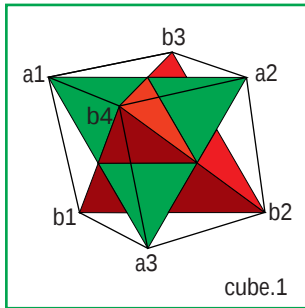


正四面体A+正四面体B



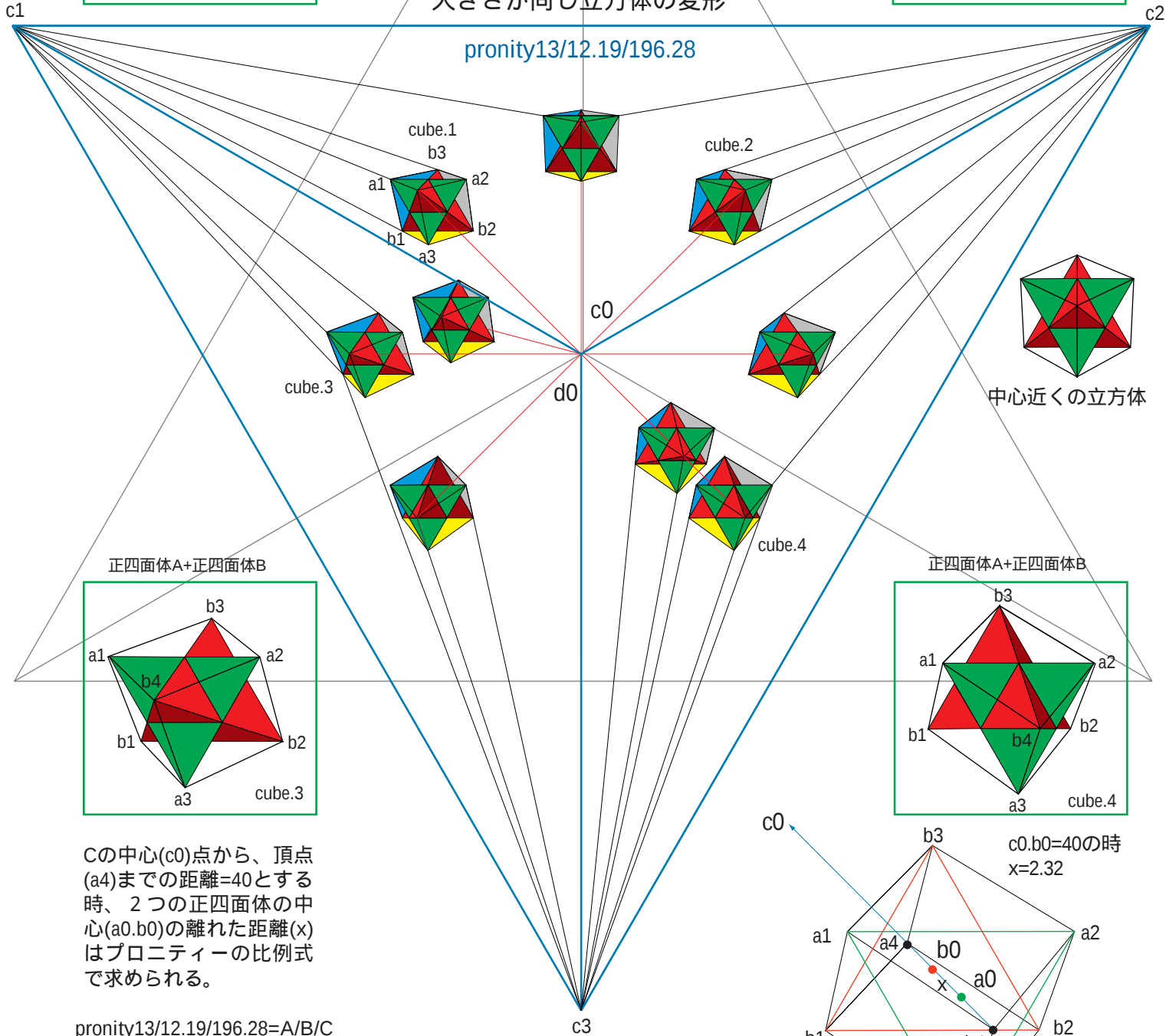
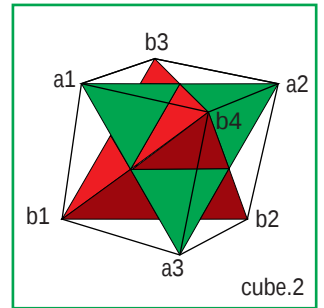
< 巨大な正四面体CとDに挟まれた空間 >

手前に頂点を持つ巨大な正四面体Cの底面の3頂点からの4本ずつの張力と、Cに対をなすもう一つの正四面体Dの奥の頂点d0への円心力で、2つの正四面体CDの空間に浮かぶ立方体は、中心から離れるほど3方向からの張力の差が大きくなり、立方体は変形していきます。

大きさが同じ立方体の変形

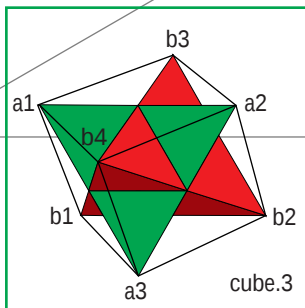
pronty13/12.19/196.28

正四面体A+正四面体B



中心近くの立方体

正四面体A+正四面体B



Cの中心(c0)点から、頂点(a4)までの距離=40とする時、2つの正四面体の中心(a0.b0)の離れた距離(x)はプロニティーの比例式で求められる。

pronty13/12.19/196.28=A/B/C

x= 2つの正四面体の中心距離

$$c0.b0=x \cdot C / (B - (A - B))$$

$$c0.a0=x \cdot C / (A + (A - B))$$

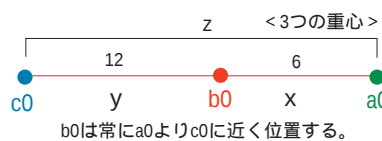
c0.a4=40の時a0.b0は

$$c0.b4=x \cdot C / (B - (A - B)) = 40$$

$$40 = x \cdot 196.28 / (12.19 - (13 - 12.19))$$

$$40 = x \cdot 196.28 / 11.38$$

$$x = 455.2 / 196.28 = 2.31914$$



< A.B.Cの3つの重心の相対距離 >

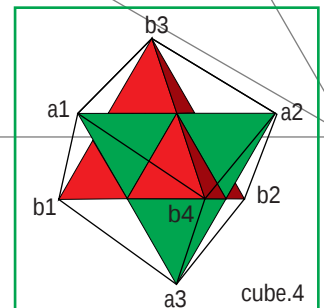
prontyA/B/C

$$a0.b0=x \text{ となると } y=x \cdot C / A \quad z=x \cdot C / B$$

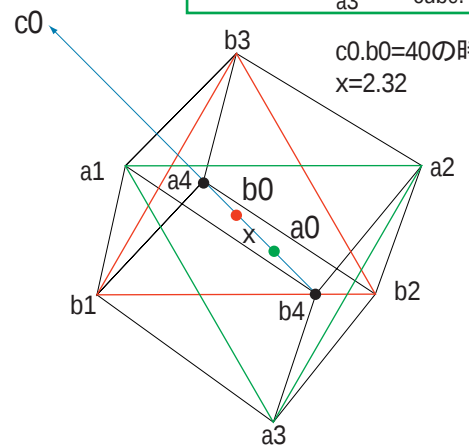
$$b0.c0=y \text{ となると } x=y \cdot A / C \quad z=y \cdot A / B$$

$$c0.a0=z \text{ となると } x=z \cdot B / C \quad y=z \cdot B / A$$

正四面体A+正四面体B



c0.b0=40の時
x=2.32



立方体と正四面体の動き

正三角形Dの中心d0から離れるに従って立方体の形は変形していき、中の2つの正四面体同士も離れていきます。一つの立方体は、中心d0からの力と3つの焦点c1.c2.c3からの4つの力の均衡によって空間に位置します。